

# いなみ野ため池ミュージアム (明石、加古川、高砂、稲美、播磨ため池群)



「近代化産業遺産」に登録された  
いなみ野ため池ミュージアム



左上: 洗い場の残るため池  
左下: オニバス  
右上: ながむるジュンサイ祭り  
右下: 樋抜き儀

## ため池の概要

### ため池の所在地

兵庫県(明石市、加古川市、高砂市、加古郡稲美町、播磨町)

### ため池の特徴

いなみ野ため池ミュージアムは、東播磨地域のため池群の池1つ1つを展示物、全体を博物館と見立てたもので、地域住民、自然保護団体、学識者等からなる「ため池協議会」によって、保全活動やため池を中心とした地域づくりが非常に活発に行われています。

東播磨は小雨で地形的に河川取水が困難なため、非かんがい期に上流で取水した水を、数多くのため池を造って貯水し、池を相互に水路で結んで反復利用する効率的な水利システムが構築されました。

ため池群には兵庫県下最古(675年)の池や最大の池などが含まれており、その総数は600に及び日本有数のため池密度を誇ります。

堤防や池をつなぐ水路網、分水施設には水を無駄にしない工夫の跡が残され、文化財として評価も高く、経済産業省「近代化産業遺産」、文化庁「文化的景観180ヶ所」になっています。

また、ため池群は内陸部の貴重な水辺環境を形成しており、カモやコハクチョウが飛来し、ダルマガエル、ガガブタ、車軸藻、オニバスなどのレッドデータブック希少種も見られます。

## 関連情報

インターネット検索エンジンにて「いなみ野ため池ミュージアム」と検索